

【日 時】 2026年5月25日

【会 場】 埼玉県理容美容専門学校 3会学校本部

【委 員】 評価委員 4名

委員長	校 長	増村 信雄
	副校長	島田 美紀
	学校本部長	千住 義祐
	教務課長	原田 怜
	総務係長	本橋 綾子

1. 開会の辞（校長 増村信雄）2025年度 自己点検評価委員会を開催することを宣言

2. 校長挨拶（校長 増村信雄）

2025年度は2024年4月1日から2025年3月31日までの2年間に涉り退学率が理容・美容ともに10%を超過したため、この対応を中心に運営されてきた。この課題を重点的に評価したい。

3. 審議事項

（1）教育理念・目標

校長／ 事前に各科で評価項目を検討した結果について報告願いたい。

副校長／ 各課にて検討の結果、総務課より（2）学校運営の評価項目⑦⑧について、教務課より（4）学修成果の項目③について、評価及び内容の検討が必要との意見があった。その他の項目については、2024年度のから評価の変更はなかった。

（2）学校運営 評価項目⑦

本部長／ ⑦ 「教育活動等に関する情報公開が適切になされているか」に関しては、ホームページを用いて教育課程編成委員会の議事録をはじめシラバス公開などの情報公開が徹底できている。評価4から5が妥当と考えられる。

副校長／ ⑧ 「情報システム化等による業務の効率化が図られているか」について評価4で据え置きとなった点についてその理由は何か

総務課係長／ 効率化を図ってはいるが、校内での情報共有についてリレーションが充分でないデータがあり、効率向上の途上にあるため、今回評価は4とした。

本部長／ 教務として（4）学修成果の項目 ③ 「退学率の低減が図られているか」についての評価は4とされているがこの理由は何か。

教務課長／ 過去2年間の退学率が10%を超えたため、指導の見直しやカリキュラムの刷新などに取り組み一定の成果は出ていると考えて評価を5として良いのではという意見も出たが、退学率0%を目指すとなれば現状は4ではないかと考える。

- 本部長／ 学校として退学は0%を目指さないとはいいがたい。
- 校長／ 0%は理想ではあるが、自己評価としては4で良いものとする。
- 副校長／ (5)学生支援 ③「学生に対する経済的な支援体制はあるか」の項目について評価は5のままで良いと思うが、2025年度実績として「学生支援機構」の入学手続き金支援があったことは記載すべき。
- 校長／ これは本校の独自の取組であるので記載することとする。
- 本部長／ (10) 社会貢献・地域貢献 についてコロナの影響で一時ボランティア活動等が困難であったが、この件の状況と評価はどうか。
- 教務課長／ 本校の定例行事である「感謝祭」はコロナ期の来客入れ替え制が、感染症対策だけでなく混雑緩和や学生の負担軽減に効果があったので、このスタイルをとって開催をしているが、年々来訪者は増加傾向である。地域貢献では2024年に引き続き2025年は一年生全員が「浦和まつり」に参加し、給水ボランティアや「浦和踊り」の連などに参加した。その他、埼玉県の青少年課主催の小学生「リアル体験教室」にも協力した。さいたま市役所主催の「浦和区」の香りアンケートなどでも学生が積極的に参加しており、充実している。
- 校長／ 2023年から2025年にかけて重点項目である「教育内容と指導力」の充実について、前向きに進んでいると評価する。2025年の自己評価を総括すると、全体的なブラッシュ・アップが図られたといえる。但し、退学率の軽減は引き続き大きな課題として次年度も継続的に充実を図りたい。

以上

※ 以上の議事を以って「埼玉県理容美容専門学校 自己評価結果（2026年度）」とし、本書を以って報告する。